

# 2021年度（2022年3月期） 第3四半期決算説明会

---

シチズン時計株式会社

2022年2月10日

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。なお、億円未満は切り捨てになっています。

## 2021年度第3 四半期業績概要

---

## 2021年度第3四半期（累計）実績

- 時計事業：北米市場を中心に想定を上回る（前年比 +43%増収）
- 工作機械事業：部材調達難の中、想定より生産が進捗し、  
売上高は過去最高（前年比 +85%増収）
- 主要2事業の売上高増により、営業利益196億円（前年比 +257億円増益）

## 2021年度通期業績予想

- 第3四半期業績の上振れを踏まえ、通期予想を上方修正
- 売上高 2,775億円（前回予想比 +45億円）  
営業利益 185億円（前回予想比 +13億円）

# 2021年度第3四半期（累計）連結業績概要

CITIZEN

(単位：億円)	2020年度	2021年度	前年同期比	
	9カ月累計実績	9カ月累計実績	増減額	増減率
売上高	1,511	2,156	+644	+42.7%
営業利益	▲ 60	196	+257	-
営業利益率	▲4.0%	9.1%	-	-
経常利益	▲ 26	223	+249	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 219	171	+391	-
為替レートの	¥106/USD ¥122/EUR	¥111/USD ¥131/EUR	-	-

# 2021年度第3四半期（累計）セグメント別業績推移

CITIZEN

（単位：億円 / %：営業利益率）

売上高	2020年度	2021年度	前年同期比	
	9カ月累計実績	9カ月累計実績	増減額	増減率
■ 時計事業	717	1,028	+311	+43.4%
■ 工作機械事業	325	600	+275	+84.8%
■ デバイス事業	332	378	+46	+13.9%
■ 電子機器他事業	135	147	+11	+8.7%
合計	1,511	2,156	+644	+42.7%
営業利益				
■ 時計事業	▲38 (▲5.3%)	103 (10.1%)	+142	-
■ 工作機械事業	14 (4.6%)	94 (15.7%)	+79	+534.0%
■ デバイス事業	▲7 (▲2.3%)	21 (5.6%)	+28	-
■ 電子機器他事業	1 (1.1%)	10 (7.2%)	+9	+603.9%
消去又は全社	▲31	▲33	▲2	-
合計	▲60 (▲4.0%)	196 (9.1%)	+257	-

# 2021年度第3四半期（10－12月期）連結業績概要

CITIZEN

(単位：億円)	2020年度	2021年度	前年同期比	
	3Q実績	3Q実績	増減額	増減率
売上高	621	798	+177	+28.6%
営業利益	21	89	+67	+308.6%
営業利益率	3.5%	11.2%	-	-
経常利益	34	102	+67	+192.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 4	73	+77	-
為替レートの影響	¥105/USD ¥124/EUR	¥113/USD ¥130/EUR	-	-

# 2021年度第3四半期（10－12月期）セグメント別業績推移 **CITIZEN**

（単位：億円 / %：営業利益率）

売上高		2020年度	2021年度	前年同期比	
		3Q実績	3Q実績	増減額	増減率
	■ 時計事業	336	407	+71	+21.3%
	■ 工作機械事業	117	217	+100	+85.0%
	■ デバイス事業	119	123	+4	+3.4%
	■ 電子機器他事業	47	49	+1	+3.7%
	合計	621	798	+177	+28.6%
営業利益					
	■ 時計事業	15 (4.6%)	55 (13.6%)	+40	+257.0%
	■ 工作機械事業	8 (7.6%)	35 (16.2%)	+26	+294.8%
	■ デバイス事業	3 (2.8%)	5 (4.8%)	+2	+76.0%
	■ 電子機器他事業	3 (7.0%)	3 (6.4%)	▲0	▲5.5%
	消去又は全社	▲9	▲10	▲1	-
	合計	21 (3.5%)	89 (11.2%)	+67	+308.6%

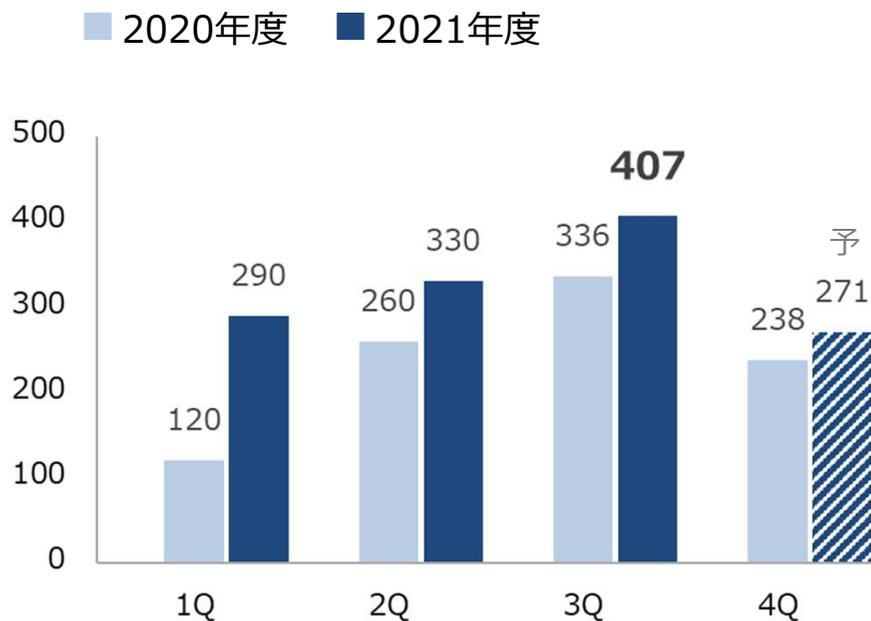
## 完成品販売

- 海外市場：北米の好調が引き続き業績を牽引したほか、欧州・中国も底堅さを保つ
- 国内市場：人流の回復に伴い消費活動も緩やかに改善

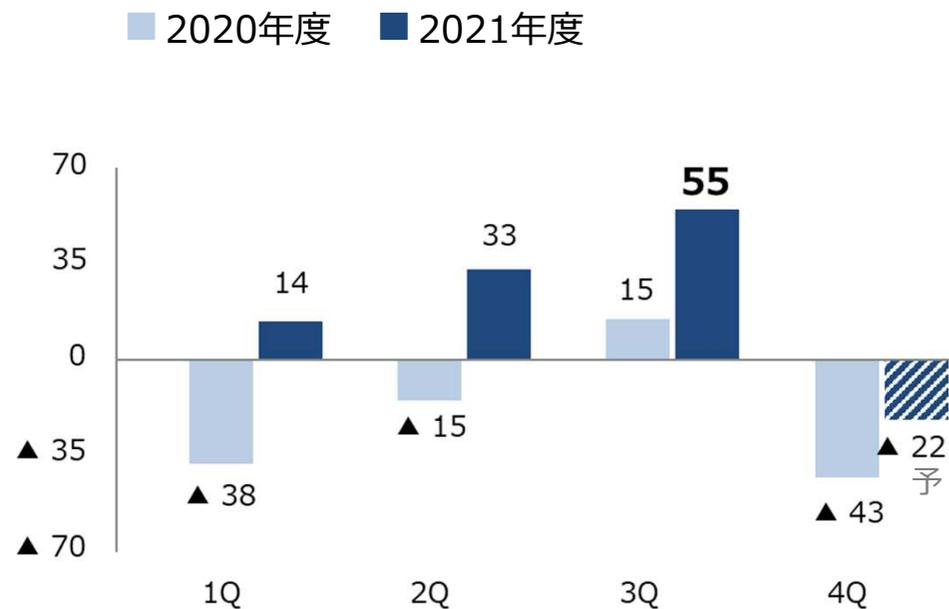
## ムーブメント販売

- 機械式ムーブメントが堅調継続。アナログクォーツも多針系が好調維持

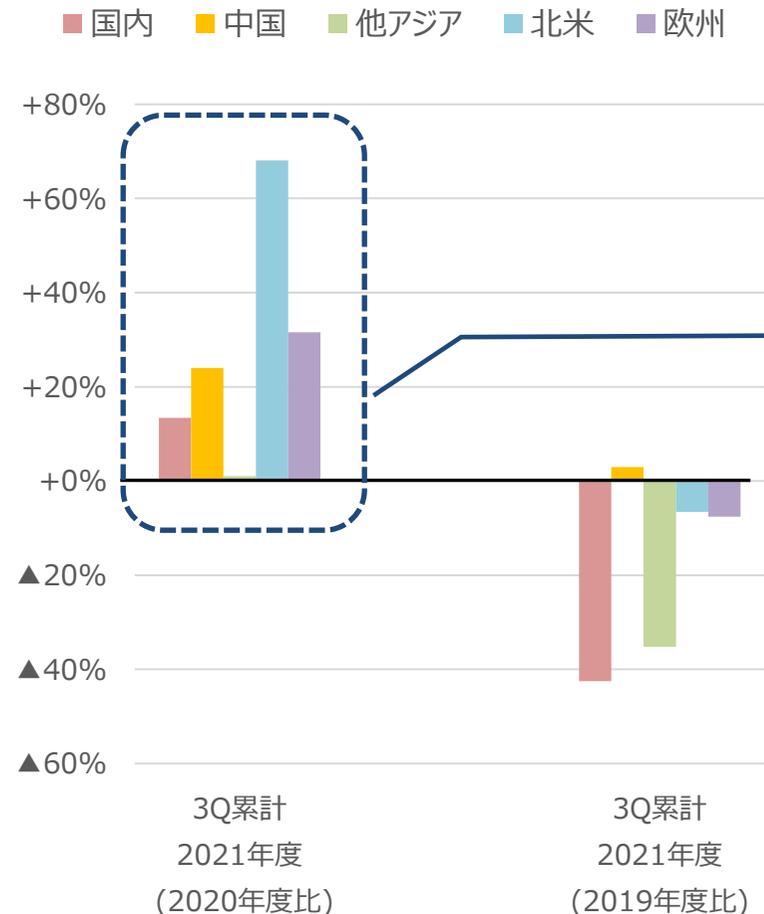
### 売上高(億円)



### 営業利益(億円)



## 前年同期及び前々年同期比増減率



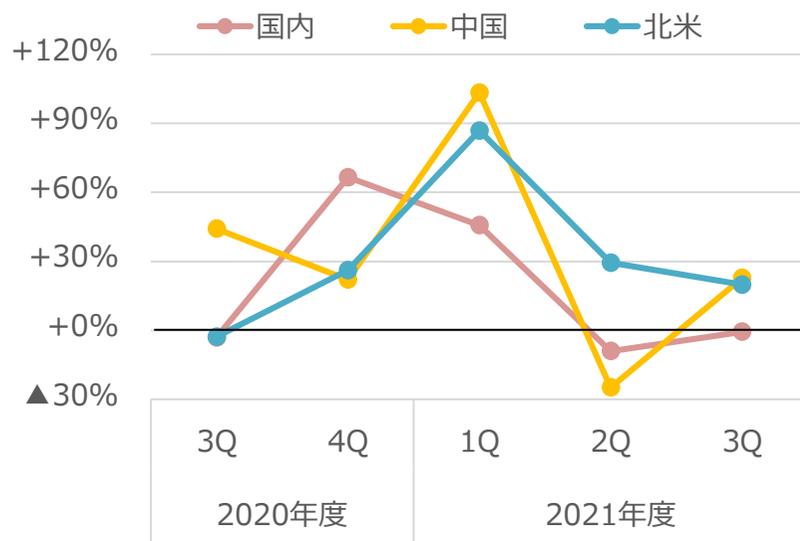
### 前年同期(2020年度 3Q累計)比増減率

経済活動の再開状況によって地域差はあるものの、引き続き回復傾向で推移

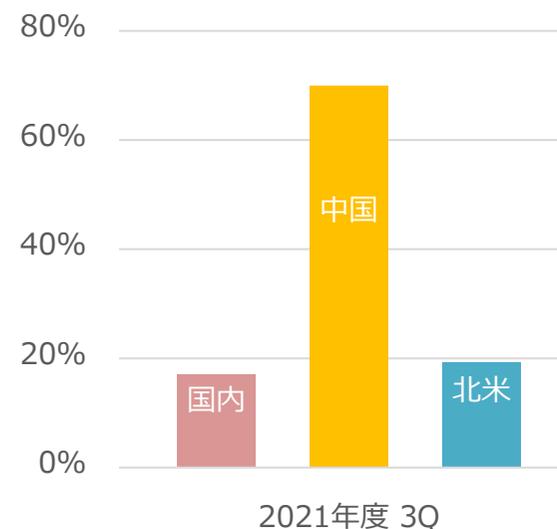
- 国内：人流回復を受け緩やかに回復
- 中国：景況感は悪化も実店舗・EC販売が堅調維持
- 他アジア：緩やかな回復傾向を維持
- 北米：EC販売及び実店舗の回復を受け好調継続
- 欧州：経済活動の再開に伴い主要地域が回復

※ 北米のみCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減。その他の地域はCITIZENブランドのみの増減。  
 ※ 他アジアは中国を除いたアジア地域  
 ※ 現地通貨ベースの増減率

## ■ EC販売 前年同期比増減率



## ■ EC比率



## ■ EC販売 3Q前年同期比増減率

- 国内 ▲1% 限定品は堅調に推移したものの、経済活動正常化に向けた動きは弱く伸び悩み
- 中国 +23% コラボモデルを中心に好調に推移
- 北米 +20% EC販売強化に向けた取り組みが寄与し、直販ECは限定製品を中心に好調継続。既存ECも伸張

※ 国内、中国はCITIZENブランドのみの増減。北米はCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減

※ 増減率、EC比率はいずれも現地通貨ベース

## 北米市場の復調

- 高単価製品の販売が伸びており、平均単価は2018年度以降 2割以上の上昇
- EC販売が伸長。特に直販EC販売では、他の流通では購入できない限定品が好評
- 宝飾チェーン、百貨店流通などの実店舗も消費活動の回復に伴い好調

## CITIZEN



## BULOVA



## 『シチズン クロスシー』 「daichi collection」

- 『シチズン クロスシー』 から未来に続く広い大地をコンセプトにした新たなコレクション「daichi collection」を  
2021年10月から発売
- 希望小売価格：  
88,000円～91,300円（税抜価格80,000円～83,000円）



## 『カンパノラ』 コスモサイン20周年

- 『カンパノラ』 から、天体の運行を表示する人気シリーズ「コスモサイン」の限定モデルを「シチズン フラッグシップストア」及び「シチズン プレミアムドアーズ」にて  
2021年10月発売
- 希望小売価格 330,000 円（税抜価格300,000円）
- 限定100本



## 『The CITIZEN』 Iconic Nature Collection発売

- 『The CITIZEN』 から年差±5秒の高精度光発電エコ・ドライブムーブメントを搭載し、土佐和紙を用いた美しいグラデーション文字板で表現した「Iconic Nature Collection」4モデルを2022年2月より発売開始予定
- 希望小売価格：各385,000円（税抜価格350,000円）
- 限定250本×4モデル



## 『CITIZEN ATTESA』ブランド誕生35周年

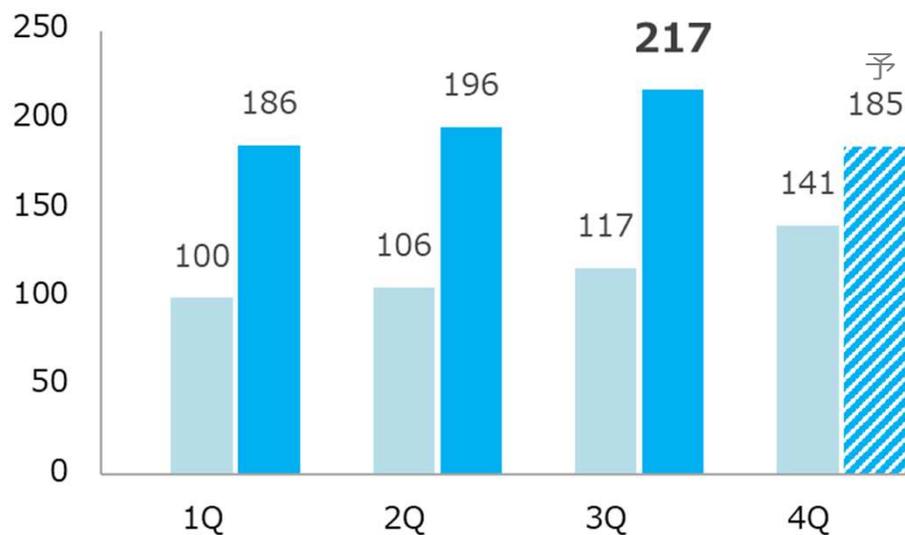
- 『CITIZEN ATTESA』ブランド誕生35周年記念第1弾として、日産自動車株式会社が販売する『日産フェアレディ Z』とのコラボレーションモデル2モデルを2022年3月発売開始予定
- 希望小売価格：165,000円（税抜価格150,000円）
- 限定1,700本×2モデル



- 国内市場：半導体・建機・住宅設備関連など幅広い業種が好調に推移し、増収
- 海外市場：欧州が旺盛な設備投資需要を受け、増収。中国も好調継続

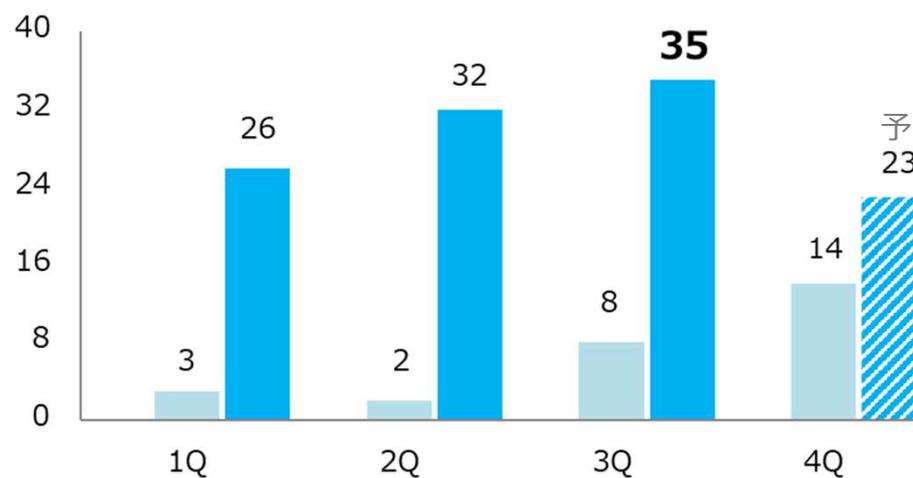
### 売上高(億円)

■ 2020年度 ■ 2021年度

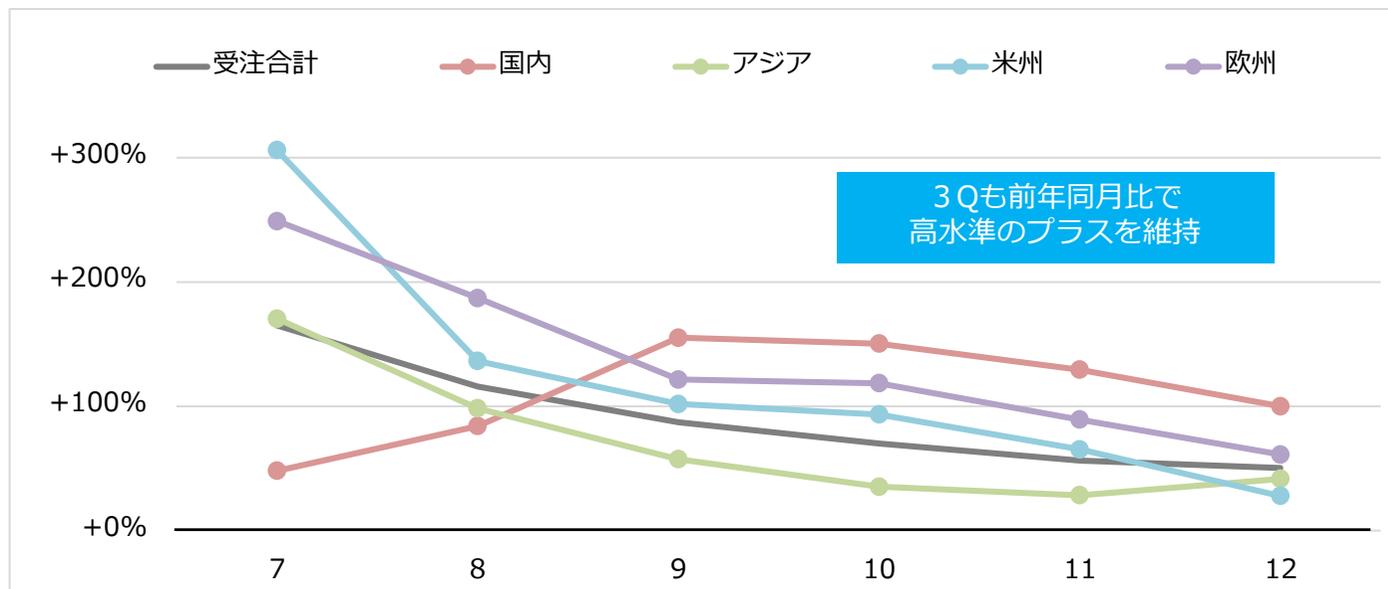


### 営業利益(億円)

■ 2020年度 ■ 2021年度



## ■ 前年同月比増減率(3カ月移動平均受注台数)



## ■ 3Q前年同期比増減率(四半期受注台数)

- 受注合計    +50%    2Qまでの受注水準から一服したものの、経済活動の再開を受け高水準を維持
- 国内        +100%    半導体、建機など全体的に好調、自動車は減産影響により回復遅れ
- アジア      +42%    医療、自動車、スマートフォン関連など全体的に好調な受注を獲得
- 米州        +28%    医療関連を中心に積極的な設備投資が継続
- 欧州        +61%    ドイツ、イギリス、イタリアなど幅広い地域で旺盛な需要が継続

## 本社軽井沢工場に新棟（精密加工工場）を建設

- 中国新工場の建設やタイ工場の増床など、段階的に生産能力を高めており、2023年には全生産拠点での本体生産能力が4割増（2021年度比）となる見込み
- 増強した本体生産能力に合わせ、スピンドルなどの基幹部品を確保する必要があるため、本社工場の隣接地に精密加工工場を新設し、基幹部品の生産能力を6割増強
- 新設する精密加工工場は、ロボットやAGV（無人搬送車）などを活用し自動化・省力化を図るほか、周辺地域の環境保護にも取り組む



左奥：本社工場 右手前：精密加工工場

### ■ 精密加工工場概要

所在地：長野県北佐久郡御代田町御代田4107-6 本社敷地内東側

建物面積：4,100㎡ 着工：2022年4月（予定） 竣工：2023年3月（予定）

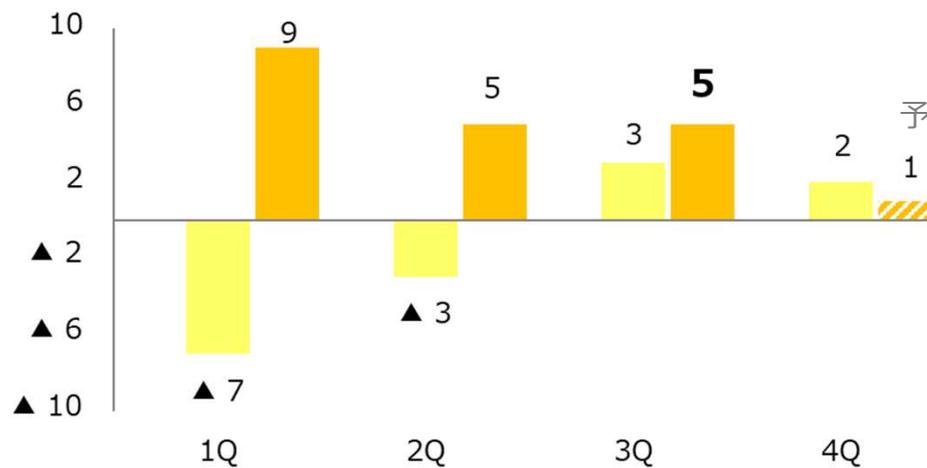
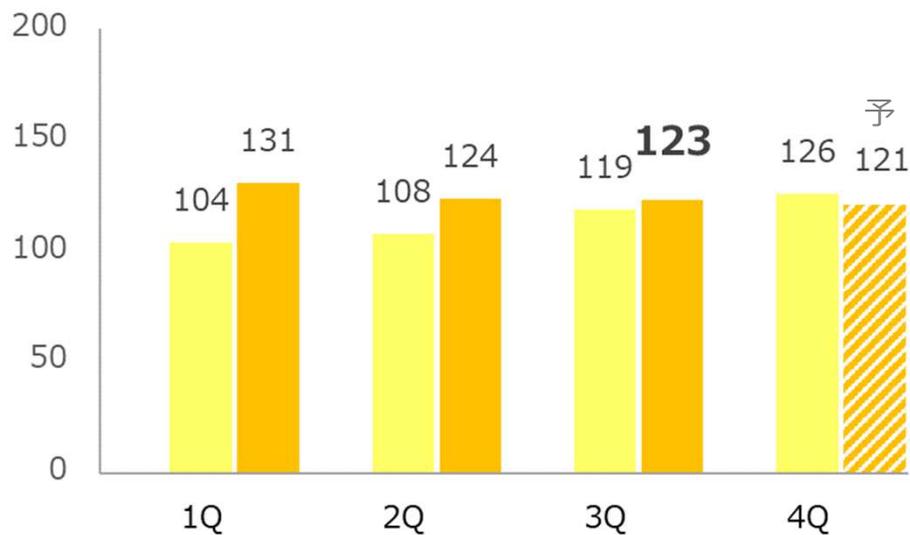
- 精密加工部品：自動車部品は自動車メーカーの減産等の影響を受け、減収  
スイッチは減収となるものの2Qより回復
- オプトデバイス：照明用LED、車載用LEDが回復もその他一般向けLEDは伸び悩み
- その他部品：水晶デバイスや小型モーターが好調に推移

売上高(億円)

営業利益(億円)

■ 2020年度 ■ 2021年度

■ 2020年度 ■ 2021年度



## 2021年度下期及び通期連結業績予想

---

# 2021年度 下期及び通期連結業績予想

CITIZEN

(単位：億円)	2021年度11/11予想		2021年度2/10予想		前回予想比増減	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	1,373	2,730	1,418	2,775	+45	+45
営業利益	65	172	78	185	+13	+13
営業利益率	4.7%	6.3%	5.5%	6.7%	-	-
経常利益	70	190	84	205	+15	+15
親会社株主に帰属する当期純利益	46	145	56	155	+10	+10
為替レートの影響	¥110/USD ¥125/EUR	¥110/USD ¥128/EUR	¥112/USD ¥128/EUR	¥111/USD ¥129/EUR	-	-

# 2021年度 下期及び通期セグメント別業績予想

CITIZEN

		(単位：億円 / %：営業利益率)		2021年度11/11予想		2021年度2/10予想		前回予想比増減	
		下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	■ 時計事業	670	1,290	679	1,300	+10	+10		
	■ 工作機械事業	360	744	403	786	+42	+42		
	■ デバイス事業	251	507	244	500	▲ 7	▲ 7		
	■ 電子機器他事業	90	189	90	189	+0	+0		
	合計	1,373	2,730	1,418	2,775	+45	+45		
営業利益	■ 時計事業	28 (4.2%)	76 (5.9%)	32 (4.8%)	81 (6.2%)	+5	+5		
	■ 工作機械事業	50 (13.9%)	109 (14.7%)	59 (14.7%)	118 (15.0%)	+9	+9		
	■ デバイス事業	8 (3.2%)	23 (4.6%)	7 (3.0%)	22 (4.5%)	▲ 1	▲ 1		
	■ 電子機器他事業	3 (3.9%)	11 (5.8%)	3 (3.9%)	11 (5.8%)	+0	+0		
	消去又は全社	▲ 24	▲ 47	▲ 24	▲ 47	+0	+0		
	合計	65 (4.7%)	172 (6.3%)	78 (5.5%)	185 (6.7%)	+13	+13		

**CITIZEN**

## 2021年度第3四半期(累計)セグメント別業績推移(2019年度比)

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2019年度	2021年度	前々年同期比	
	9カ月累計実績	9カ月累計実績	増減額	増減率
■ 時計事業	1,183	1,028	▲ 154	▲ 13.1%
■ 工作機械事業	451	600	+ 148	+ 33.0%
■ デバイス事業	439	378	▲ 60	▲ 13.8%
■ 電子機器他事業	174	147	▲ 26	▲ 15.4%
合計	2,249	2,156	▲ 93	▲ 4.1%
営業利益				
■ 時計事業	82 (7.0%)	103 (10.1%)	+ 21	+ 25.4%
■ 工作機械事業	62 (13.8%)	94 (15.7%)	+ 31	+ 51.1%
■ デバイス事業	12 (2.9%)	21 (5.6%)	+ 8	+ 64.2%
■ 電子機器他事業	0 (0.1%)	10 (7.2%)	+ 10	-
消去又は全社	▲ 45	▲ 33	+ 12	-
合計	112 (5.0%)	196 (9.1%)	+ 84	+ 74.9%

- コロナ前(2019年度)と比較し、売上高は近い水準まで回復、営業利益は大幅に伸長
- 全セグメントでコロナ前の営業利益を上回る